

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 年 月 20日

事業所名 きっずあいらんど横浜鶴見教室

保護者等数(児童数) 17 回収数 14 割合

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	0	0		お部屋がとても広い	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	1	0	2		
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	0	0	0	しっかり施錠されていて、部屋も白で統一されていてスケジュールを絵カードで提示してありわかりやすい環境だと思う	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12	0	0	1	広々としていて活動がしやすそう	
	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	12	0	0	1	個別支援計画も保護者と面談の上、しっかりいつまでと目標も設定しておこなっている	

保護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	0	0	0	定期的に面談していただき、時間を取ってもらっている	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	1	5	4	保護者会があると嬉しい	本社に相談し、保護者会の導入を検討したい
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13	0	0	0	相談や要望に応じてくれている	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	0	0	0	送迎時に様子を聞けたり、連絡帳で行った内容を知ることが出来る	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	13	0	0	0	ブログの更新が楽しみで、子どもと一緒に見ている。書面で行った内容やスケジュールを知れて嬉しい	
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	12	0	0	1	写真を載せても良いかきちんと確認を取ってプライバシーにも充分気を付けている	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	13	0	0	0	マニュアルは書面で渡されている	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	0	0	9	毎月プログラムに避難訓練が組み込まれている	
満足	22	子どもは通所を楽しみにしているか	9	3	1	0	その日によってムラはあるが、楽しみに行って魅力的な教室を作っていきたい	

定 度	23	事業所の支援に満足しているか	12	0	0	1	満足している。小学校に行っても通所させたい
			257	6	8	33	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 20日

事業所名 きつずあいらんど横浜鶴見教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環 境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1	体を動かすときには広いお部屋を使うなど、危険がないように意識している	
	2	職員の配置数は適切であるか	6	1	小集団をしっかりと見れる人数が揃っている	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	1	教室内の靴棚やロッカーなどの置き場は、動線を考慮している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	1	汚れている時にはきれいにしよう心掛けている	
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	毎日ミーティングを開き、気付きや振り替えりの共有、改善点を話し合っている	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1	保護者から頂いた意見は真摯に受け止め、改善や業務の向上に生かしている	

業務改善	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	4	年に1回評価をいただいている	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4	本部や他事業所からの評価・意見を業務改善に繋げている	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	月に一回+児発管が気がなった時には随時研修を開催している	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	契約時だけでなく、お子様に変化があった時などにはアセスメントを行っている	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	詳細記載のアセスメントシートにアセスメント結果を記入している	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	より具体的、詳しく支援内容を設定するよう心掛けている	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	定期的に支援計画を見直し、カンファレンスで職員全員に共有し、共通の支援の提供をしている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1	イベント部が中心になり、活動プログラムの立案をしている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	毎月プログラムカレンダーを作成し、偏りのない支援を行うとともに、利用者様が楽しく過ごせるよう職員全員で考えている	

16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	0	個別活動と集団活動双方を組み込んでいる	
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2	朝必ずミーティングを行っている	
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	支援後または翌朝のミーティングで振り返りや気付を共有、改善に努めている	
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	リムノートに日々様子や活動内容を出来るだけ詳細に記入している	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	定期的に保護者と面談、モニタリングをし、個別支援計画の見直しを行っている	
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	児発管が参加、事業所内で共有している	
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	2	区役所や基幹相談支援センターと連絡を取っている	
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	3	現段階では対象となる利用者がいない	
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	3	現段階では対象となる利用者がいない	

関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2	利用者様の在園先と情報共有をしている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	3	個別支援会議などで情報共有している	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3	他事業所での研修を受けている	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	3		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	3	4	区の関係機関連絡会に出席している	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	2	5	送迎時や連絡帳で保護者と状況の提供・共有している	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	2	児発管が相談をおけている。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1	契約時に必ず保護者に詳しい説明をしている	

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	1	個別支援計画の作成時には説明の上、同意の署名・押印をいただいている	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1	保護者からの相談は随時受け付け、問題解消や	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4	改善に努めている	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	早急な対応、申し入れについては対策を検討の上報告・必要用に応じて改善に努めている	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	イベント時や季節ごとに通信を発行、配布している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	個人情報は鍵付きの棚に保管、事業所外には持ち出さない指導をしている	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	日々の送迎時や必要に応じて電話で直接伝えている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	5		
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	0	マニュアルを作成、保護者に配布するとともに、職員全員で避難場所を下見	

非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1	月に一度避難訓練を開催	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	2	5	アセスメント時に、アレルギーも含め聞き取っている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	アレルギーの物は完全除去、対応については保護者に事前に確認	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	3	ヒヤリハットの様式・ファイル有	ヒヤリハット事例をなるべく減らすための注意喚起が必要
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	研修委員、児発管が主体となり、定期的に虐待・身体拘束の研修を開催	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	4	契約時に身体拘束の原則や事例を説明	